

背景

背景

- ・2001年6月5日、東京で行われた日墨首脳会談において、日本的小泉純一郎首相とメキシコのビセンテ・フォックス大統領は、両国の経済関係強化の方策について、自由貿易協定の可能性も含め包括的に検討することを目的として、日墨の産学官からなる共同研究会の設置を決定した。
- ・上記の目的をもって設置された共同研究会は、両国の経済関係を発展させるために改善・協力すべき事項・分野を明らかにした上で、これらの事項・分野について、改善及び協力の方策を包括的に議論した。
- ・共同研究会は、2001年9月から2002年7月まで、計7回の会合を開催した。本最終報告書は、その議論の主要点をまとめたものである。第1部（総論）において共同研究会における議論の全体を概観し、第2部（貿易・投資の自由化）及び第3部（円滑化、二国間協力措置、紛争解決）において、個別の課題毎の議論の詳細を記述する。